

アセアン+3 緊急米備蓄 (APTERR) について

1. 目的

東アジア地域 (ASEAN (10 カ国)、日本、中国、韓国) における食料安全保障の強化と貧困の撲滅を目的とし、大規模災害等の緊急時に備えるもの。

2. 経緯

- 2002 年 10 月 ASEAN + 3 農林大臣会合
「東アジア緊急米備蓄 (EAERR) パイロット・プロジェクト」の開始を承認。
- 2004 年 3 月～2010 年 2 月
EAERR パイロット・プロジェクト実施
 - * 我が国は、タイとともに調整国として積極的に関与
 - * 事業経費は日本のみが 2011 年までの 8 年間で総額約 575 万ドルを拠出
 - * 事務局はタイ国農業協同組合省内に設置 (タイは事務所、スタッフ等を拠出)
- 2010 年 3 月
ASEAN+3 緊急米備蓄 (APTERR) の準備段階へ移行
 - * 恒久的な組織の創設を目指し、APTERR 協定案を検討
- 2011 年 10 月
ASEAN+3 農林大臣会合にて APTERR 協定の採択署名を実施
- 2012 年 6 月
ASEAN からタイ、マレーシア、カンボジア、フィリピン、シンガポールに続き、6 月にベトナムが寄託 (6 カ国)。
協力 3 カ国からは 4 月に我が国が寄託済み。
【協定の発効要件成立 (12 日)】
- 2012 年 7 月
APTERR 協定発効 (12 日)。

3. その他の我が国の貢献

- これまで我が国の拠出を活用し、現物備蓄及び現金備蓄事業として我が国政府米による災害対策（火山噴火・洪水等）や貧困緩和対策を実施
 - ・ 現物備蓄事業 計約 1860 トン
 - ・ 現金備蓄事業 計約 480 トン（現地にて米穀調達）
- 2011 年 10 月、タイ及びカンボジアにおける洪水被災者へ現金備蓄による緊急支援の実施を承認（5 万ドル、米穀 50 トン及び調理済米缶詰 3.1 万個の現地調達）